

娘子、
佐伯宿禰赤麻呂に報へ贈る歌一首

六二七番

我が手本

まかむと思はむ

ますらはは
をち

水求め

白髪生ひにたり

佐伯宿禰赤麻呂の和ふる歌一首

六二八番

白髪生ふる

ことは思はず

をち水は
かにもか

くにも

求めて行かむ

大伴四綱の宴席の歌一首

六二九番

なにすとか
使ひの来つる

君をこそ
かにもか

くにも
待ちかてにすれ

佐伯宿禰赤麻呂の歌一首

六三〇番

初花の
散るべきものを

人言の
繁きによりて

よどむころかも